

◎簡単だから続けられる！ベランダでできる生ごみ処理！

南上の原にお住いの山田さんは、ベランダで生ごみを干してプランターに入れるだけという簡単な方法で、生ごみの減量にチャレンジしています。この方法は、ごみが減るだけでなく、植物も元気いっぱいになり、みなさんにおすすめしたいということで、方法を教えてもらいました。



方法はとっても簡単♪
みんなも、ぜひやってみてね！

↑生ごみがたい肥となり、柚子やかりん等、食べ終わった果物の種から、たくさんの芽が出ました。



①ざるとボールを使って、生ごみの水切りをします。

主に、野菜くずや果物の皮、コーヒーがら等を使います。魚や肉など、乾燥しづらいものは始めから別にしておき、水切りをしてから燃やせるごみへ。



②生ごみをベランダで乾燥させます。

生ごみをトレイに載せて乾かします。※ネットを使うとスペースを有効に使うことができ、また、虫や鳥の対策にもなります。



③乾燥させた生ごみを細かくし、プランターに入れて、土と混ぜます。

2～3日に1回かき混ぜます。生ごみにより土が肥えます。食べ終わった果物や野菜の種も入れたところ、柚子やかりん等の芽がたくさん出ました。

山田さんが取り組んだこと

<きっかけ>

CO2 削減のために何かしたい→ごみの減量に取り組むことに！

<取り組み前>

生ごみと紙ごみを分別せずに1つのごみ箱と一緒に入っていた。

<取り組み後>

野菜くずや果物の皮、お茶がら等の生ごみは土に埋め、紙ごみは雑がみ等のリサイクルできるものと分けるようにした。

(※魚や肉は、燃やせるごみとして捨てる。)

<結果>

- ・面倒なごみ捨てが週2回から1～2週間に1回まで減り、とても楽に！
- ・生ごみのいやなおいや、ごみ袋からの汁もれも解消！
- ・生ごみを埋めた土で、植物が元気に育った！

さらに工夫したこと



↑におい防止のため、土に埋めない生ごみ(魚など)は、小さなバケツに入れた！
さらに、紙ごみも分別しているので、可燃ごみがとても少なくなった！